



▲秋田北鷹高校の書道パフォーマンス



▲体育館の事業者ブース



▲消防車両の乗車体験



▲「Cutie Paiまゆちゃん」ライブ



▲坊沢の豆腐早食い競争



▲北秋田活性化中学生選手権



▲秋田北鷹高校生による研究発表



▲農産物の展示

▲びっくり商業祭

北あきたの 未来を創る 彩発見

第9回 北秋田市

産業祭

第9回北秋田市産業祭が、10月24日、25日の2日間、鷹巣体育館を会場に行われ、農・商・工全般にわたる展示品の観覧や特産品を買い求める多くの市民でにぎわいました。

産業祭は、市全体の地場産業の振興や地域経済の活性化を図るため、市や商工会、J Aなどで作る実行委員会の主催で行われているもので、9回目を迎えた今年のテーマは「北あきたの未来を創る彩発見」。今回は、秋田魁新報社とのタイアップ事業の「ふるさと彩発見さがけin北秋田」が同時開催されたほか、例年と同様、会場には市内の75事業所のブースが設けられ、展示や販売が行われました。

北秋田のすばらしい物、人、活動を新発見！津谷市長

24日の午前10時、多くの人が集まるなか、体育館入り口で開会セレモニーが行われ、開会にあたり津谷市長は「産業祭は、農商工の様々な分野で、皆さんが長い間培ってきた高い技術や伝統を、広く市内外の方々に知っていただく機会として開催してきました。今年の秋田魁新報社とのタイアップ事業では、今までとは違った角度から北秋田の素晴らしい物、人、活動を新たに発見し、地域の方々が誇りを持ち、未来につながる産業祭になることを願っています」などとあいさつ。このあと、代表者によるテープカットで開催を祝いました。

盛りだくさんのイベントで北秋田市の魅力再発見

館内では、農産物の展示、事業者による企業製品の展示や販売、秋田内陸線のPR、鷹巣・北秋田建設技能組合による実演、園児による絵画展などのほか、「びっくり商業祭」では、採れたての農産物や加工品、お菓子などが格安で販売されました。また、屋外には、食堂や地元特産品を販売する多数のテントが立ち並び、今回は北秋田市も参加しているアンテナショップ「とれたて村（東京都板橋区大山商店街）」からも出店され、会場に華を添えました。さらに、自衛隊・警察・消防の車両展、建設作業車の展示とデモンストレーションも行われ、子どもたちの人気を集めました。

ステージでは、秋田魁新報社とのタイアップ事業の一環として、「磨こう掘り起こそう北秋田の魅力」をテーマとしたシンポジウムや、市内5中学校の代表者が、職場体験をもとに北秋田市を活性化させる提案を発表する「北秋田活性化中学生選手権」、秋田北鷹高校生による「比内地鶏の去勢鶏に関する研究発表」も行われ、ふるさとの良さを再認識する機会となりました。また、恒例の「坊沢の豆腐早食い競争」や、大山商店街公認アイドルの「Cutie

農産物品評会に331点 1等賞は11点

農産物品評会には、331点の農産物が出品され、市長賞をはじめ、J A鷹巣町組合長賞、J Aあきた北央組合長賞、秋田県たばこ耕作組合長賞の1等賞に11点、2等賞に20点、3等賞に24点が選ばれました。24日に行われた表彰式では、1等賞を受賞された方々に、津谷市長や各団体の代表者から賞状と記念品が手渡されました。

1等賞は次のとおりです

【市長賞】（2点）

▽山の芋（小笠原昌さん・綴子大畑）▽キャベツ（南大野台グリーンファームさん・大野台）

【J A鷹巣町組合長賞】（4点）

▽ブロッコリー（出川昭子さん・糠沢）▽ベイナス（大川直直さん・三ノ渡）▽セリ（佐藤光代さん・田子ヶ沢）▽長ネギ（三澤イネさん・田中）

【J Aあきた北央組合長賞】（4点）

▽りんご（伊東忠敏さん・杉山田）▽トマト（金俊英さん・本城）▽しとう（成田直直さん・東根田）▽生しいたけ（佐藤哲也さん・鶴田）

【秋田県たばこ耕作組合長賞】（1点）

▽葉たばこ（豊村清さん・美栄）

BMセレクション 今年5事業者を選定

来場者が、6事業者のバター餅を食べ比べて、上位4事業者「BIG4」を決める「BMセレクション2015プロコンテスト」では、投票の結果、今回は3位から5位の得票数が同数のため、精まい家、高関製菓、大川米屋、みうら庵、鷹松堂（エントリー順）の5事業者が選ばれました。

選ばれた事業者は、これから1年間、商品に認定シールを貼って販売することができるとは、バター餅のPR行事などの際には、優先してそのバター餅が使用されることになっています。



▲バター餅を食べ比べる来場者